

□□□□□□

みんなのスペース

◆あて先・問い合わせ 〒028-1392(住所不要) 山田町役場総務課情報係(☎82-3111内線417)へ。

伝統あるお祭りに思いをよせて

ことしは大沢のお祭りが6年ぶりに開催される事になりました。先日、ある集会があり、さまざま意見が交わされる中で、仮設住宅に住む方が「こんな状況の中で太鼓の音さえも聞きたくない」と話していました。確かに大震災により、大きな被害を受け、家を失ったり、大切な家族を亡くした方にはお祭りどころではないと思います。私も家を失い、親戚や友人を亡くした一人です。

しかし、地域の伝統を絶やすことはできない

いのではないかと思えます。特に大沢の虎舞はこの地域では伝統ある虎舞といわれています。子どもも少なくない。現在、6年前に踊っていた子どもで、すでに古里を離れている人もいます。以前は漁船団としてお祭りに携わったことのある私としては、子どものころにお祭りを経験することで、この地を離れたとしても故郷を忘れず、懐かしく思うことができるのではないかと思います。また、お祭りは若者や子どもたちが踊るからこそ盛り上がり、それが伝承につながるのではないのでしょうか。

8月3日、4日の大沢のお祭りに町内外の皆さま、是非足を運んで見て下さい。子どもたちの頑張る姿を見て、共に元氣や勇気をもらい、みんなの活気や復興が進むよう願おうではありませんか!!

佐々木 安男(大沢・76歳)

山田湾内の大鮪と鮪網人①

今は見ることもない風景の一つに、縄網さばきがある。学校の登下校によく見るもんだった。この縄網でどんな魚が獲れるものと父母に聞くと、その網は

大鮪(オオシビ)獲る網だと教えられても分かんなかった。今は「シビ」と言う人もなく鮪の水揚げも建網が多く建網で働く人を「シビ網人」と言っており、一般の人との隔たりがあったようだった。でも山田には湾内、湾外と数多くの鮪網があった。俺、シビ網人になるなんて夢にも考えた事なかった。でも俺の卒業を待っている人がおったとは何ら知る由もなかった。母方の直系の方、その道では有名な人材だった。

山崎 卓三(大浦・?)

岩手駐屯地を見学

6月16日、滝沢村にある陸上自衛隊岩手駐屯地創立56周年記念行事が「未来へ羽ばたけ、地域と共に」をスローガンに挙行された。

来賓祝辞では、参議院議員の佐藤正久氏や元防衛庁長官玉澤徳一郎氏と名士のあいさつがあった。民間の協力者や功労者に感謝状伝達、観閲行進が終了し、メイン行事の訓練展示が始まった。仮想敵軍の上陸を想定し、上空を旋回するヘリと地上部隊が連携し、機動部隊が戦車先頭に敵陣に向け155ミリ榴弾砲で後方支援を開始。部隊を援護し、発砲音を轟かせ、実戦

さながらの訓練と隊員の機敏な作戦行動で地上戦となり、見事な包囲作戦で撃退した事に感動し日々の一糸乱れぬ訓練の印だろうと感心しきりでした。このほか戦車搭乗体験や音楽隊の演奏会など、何もかも初体験の数々で楽しい1日でした。その影には、隊員たちの地道な訓練がある。自衛隊員の日本国民の生命と国土を守り、自然災害にも出動し被災者の支援や救援と幅広い活動も忘れることのできないことと実感し、頭の下がる思いだった。

西館 隆(船越・80)

やまだ文芸広場

瑞穂の国TPP台風

瑞穂の国TPP台風
瑞穂の国TPP台風
瑞穂の国TPP台風

ジャガ芋の粒の不揃ひ苦にもせず
笑いこぼしつつ畑耕す

裏山の地の恵みの竹の子を見つけ競いてわれは採りたり
内館 洋一(飯岡・?)

幸せをもらいに今日も
医者に行き

ハイハイと医師に答える
老い素直

毎日の健康こそが生きがい
復興の嬉し涙は後で良い
適当でいいと言われて苦勞する

共に泣き共に笑ってそれで良い
芳賀 誠一(豊間根・72歳)

玉やあーバンバン上げられ
みんなに1人欠けずに
福幸火花
佐藤 啓子(山田・?)

夕やけ空

夕食をすませて外にでた
ふと見あげれば夕やけ空に
ひぐらしの声
今日の心の疲れが
夕やけにのりゆったりと流され
ていく

ほんのひととききたたずめば
自然は心をいやしてくる
このくり返しかな
人生って:
菊地 サカエ(織笠・78歳)